

たはらボッチャルール

1 チーム構成 1チーム3名～6名とする。

2 用語の定義

ジャックボール	ターゲットとなる白いボール。
ボール	赤色、青色のボール。あるいは白色のジャックボール。
デッドボール	・投球した後にコート外に出たボール。 ・選手が投げないことを選択した。
デッドボール置き場	コートの外に出たボール・選手が投げないことを選択したボールは、デッドボールコンテナ、または外周ラインのすぐ外に置かれる。
イエローカード・レッドカード	理由なく試合を遅延させる行為など。
サイド	個人戦:各サイド1名の選手で対戦。 ペア戦:各サイド2名の選手が一つの単位として対戦。 チーム戦:3～6名を一つの単位とし、控え選手、スポーツアシスタント、コーチについても、サイドのメンバーである。
エンド	一つの試合の中で、両サイドがすべてのボールを投げ終わるまでのひと区切りのこと。
投球(スロー)	・スローイングエリアにボールを投げ入れること。 ・投げる、補助具(ランプ)を使ってボールを放つこと。 ・基本的に蹴る行為はなしとする(両手が使用できない場合などを除く)

3 ゲームの進め方

① 代表者による“じゃんけん”で、勝った方が赤と青のどちらでプレーをするかを選ぶ。

※赤:先攻 青:後攻

② 先行(赤チーム)が審判からジャックボールを受け取り、投球する。

ジャックボールの投球時の反則

- ・ジャックボールが無効エリアで停止した。
- ・コートの外に投げられた。

反則となった場合の対応

- ・次のエンドでジャックボールを投球する選手(相手サイド)がジャックボールを投げる。
- ・ジャックボールが有効エリアに投球されるまでこの手順を続ける。
- ・各サイド交互に3回ずつ、この手順を続けても、ジャックボールが有効エリアに投球されなかった場合、ジャックボールはクロスへ置く。

③ ジャックボールを有効エリアに投球した選手が最初のカラーボールを投球する。

・第1球目の投球は、審判からのカラーボールの色の指示があるまでは、手に持たない

・最初のカラーボールがコートから出てしまった場合等は、そのチームがコート内の有効エリアにボールを投球できるまで投球する。(カラーボールの2球目以降は、どの選手が投球してもよい)有効になれば、相手サイドの投球に移る。

④ 相手サイドが第1球目を投球する。

・相手サイドの1球目についても、カラーボールがコートから出てしまった場合等は、そのサイドがコート内の有効エリアにボールを投球できるまで投球する。(カラーボールの2球目以降は、どの選手が投球してもよい)

⑤ 残りのボールを投球する。

・2球目以降の投球は、全てのボールを投げ切らない限り、ジャックボールから遠いボールを投げたサイドの投球となる。この手順は、両サイドも全てのボールを投げきるまで続ける。

・選手が残っているボールを、投球しないと判断した場合は、審判に示すことができ、残りのボールは“デッドボール”と宣言される。

⑥ エンドの終了。

両サイドが全てのボールを投球し、審判が得点を発表した後に、“エンドフィニッシュ”のコールでエンドが終了する。

⑦ 次エンドの準備をする。

次のエンドの準備として、ボールの回収を行う。回収が済んだら次のエンドを開始する。

4 コートから出たボールの扱い

- 全てのボールは、外枠線に触れたり越えたりした場合は、コートの外に出たものとみなされます。
- 外枠線に触れた、もしくは通過してからプレイングエリア内に戻ったボールは、コートの外に出たものとみなされます。
- 投げたボールがコート内に入らなかった場合は、コートの外に出たものとみなされます。(誤って落とした場合は除きます。)
- 投げたり弾かれたりして外枠線を越えたカラーボールは、全てデッドボールとなり、指定した場所(コートの全面)に置かれます。

5 コート上からはじき出されたジャックボールの扱い

- 試合中にジャックボールがプレイングエリアの外、あるいはジャックボール無効エリアにはじき出された場合、ジャックボールはクロスの上に置き直されます。
- すでにクロスの上にボールがあって、ジャックボールの置き直しができない場合、ジャックボールはできる限りクロスに近く、かつクロスの前側に、両サイドラインから等距離になるように置かれます。
- ジャックボールがクロスに置き直された場合、次に投げるサイドは、ジャックボールから遠いボールを投げた方のサイドから投球します。
- ジャックボールがクロスに置き直されたときに、プレイングエリアにカラーボールが一つも無い場合、ジャックボールをコート外にはじき出したチームが投球します。

6 等距離のボールの扱い

2球以上の異なる色のカラーボールがジャックボールと等距離にあり、さらに両サイド同得点(1:1、2:2など)という状態の場合、最後に投球したサイドが次に投球する。その後、その等距離状態が崩れるか、片方のサイドがすべてのボールを投げ切るまで、両サイドが交互に投球する。得点ボールが等距離にあるが同得点ではない場合(2:1など)、得点となるボールの数が少ないサイドが次に投球する。その後は通常通り進められる。新たに投球されたボールが等距離状態を崩したが、別の等距離かつ同点という状態になった場合、最後に投球したサイドが次に投球する。

7 コートサイズ及び名称

